



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2018年(平成30年)10月15日号 No.1773

目次

第4回東方経済フォーラム全体会合	1
ーロシア極東：可能性の裾野の拡大ー	
統計速報	20
2018年1～9月のロシアのブランド別乗用車販売台数／20	
キーパーソン	21
バシコルトスタン共和国首長が辞任／21	
エトセトラ	21
月例報告会「ウクライナとジョージアの最新情勢」／21	
トピックス	21
安倍首相がオレシキン経済発展大臣と会談／21	

第4回東方経済フォーラム全体会合 ーロシア極東：可能性の裾野の拡大ー

はじめに

9月11～13日、ロシア極東のウラジオストクにおいて、第4回東方経済フォーラムが開催された。2018年5月以降、9月13日までに日口間で結ばれた48文書のリストを『ロシアNIS経済速報』2018年9月15日号で紹介したが、それに続いて、特に重要性が高い全体会合部分を本速報にいち早く掲載することにした。フォーラムについての総論及び日ロラウンドテーブルについては、『ロシアNIS調査月報』2018年11月号(10月20日発行)の特集号を参照されたい。

第4回東方経済フォーラム2日目である9月12日15時頃(14:00開始予定であったが例年通り繰り下がり)、全体会合の幕があがった。会場は昨年と同様、厳重に警備されたS棟であったが、習近平・中国国家主席が出席することから、開始予定時間から2時間ほど前の12時過ぎにはもう、中国代表団が長蛇の列を作っていたことが例年との違いだろうか。

今回は、ロシア国営放送「ロシア1」アナウンサーのブリヨフ氏が司会、安倍総理、プーチン大統領に加え、初参加の習近平・中国国家主席、また、バートルガ・モンゴル大統領及び李洛淵(イ・ナギョン)韓国国務総理が登壇した。外交儀礼に則り、プーチン大統領、習近平主席、バートルガ大統領、安倍総理、李国務総理の順で演説が行われた(本稿における演説本文・抜粋及び質疑応答の掲載順は必ずしも実際の進行順ではないことに留意されたい)。

以下では、まず今回全体会合での登壇者全員の演説を掲載、その上で、多岐にわたる分野で交わされた質疑応答を抜粋し紹介する¹⁾。